



クリスティン・モルギン/ Kristen Morgin, *The Four Corners of Brad Pitt*, 2018,  
未焼成の粘土、ペイント、インク、木材 H44.5 × W61 × D68.6 cm

# クリスティン・モルギン

K・モルギン：21世紀作品 2001-2019

プレス内覧会：2022年6月22日（水）

会期：2022年6月23日（木） - 7月27日（水）

現代美術 艸居

605-0089 京都市東山区元町 381-2

開廊時間：10:00AM-6:00PM 定休日：日・月

Tel: 075-746-4456 info@gallery-sokyo.jp

艸居アネックス

604-0924 京都市中京区一之船入町 375 SSS ビル 3階

開廊時間：1:00PM-6:30PM 定休日：日・月

Tel: 080-9745-8452 info@gallery-sokyo.jp

現代美術 艸居 〒605-0089 京都市東山区元町 381-2

Sokyo Gallery 381-2 Motomachi, Higashiyama-ku, Kyoto, Japan 605-0089

T: 075-746-4456 F: 075-746-4457 info@gallery-sokyo.jp www.gallery-sokyo.jp



プレスリリース

艸居及び艸居アネックス（京都）では「K・モルギン：21世紀作品 2001-2019」を開催いたします。

今春、東京のSOKYO ATSUMIにて開催された日本初個展に引き続き、京都においては初の個展となります。2001年の初期作品から2019年までの近作を展示し、彼女の長年にわたる探求をご紹介します。

ロサンゼルスを拠点に活動しているモルギンは、未焼成の粘土を使用して、絵本や玩具、ドナルドダック、ヨーダ、ブラット・ピットなど、個人的または集団的な記憶を呼び起こすオブジェやアイコンを制作しています。

「私の作品は、物質の尊さ、気高さ、頑固さを表現した繊細なものです。荒廃し、衰滅することが決まっているにもかかわらず、必然的な終焉に抵抗しているのです。」

ークリスティン・モルギン

彼女の作品は、一見すると海外のガレージセールに並んでいそうな使い古して風化したガラクタのように見えます。色褪せたカセットテープや擦り切れたステッカー、読み古された雑誌や絵本は、実は粘土から作られています。また未焼成の粘土で模したベニヤ板やダンボールのオブジェの隣には、本物のベニヤ板やダンボールが並んでいたり、何が本物で何が作りものなのかわからなくなります。目くらましのようなモルギンの熟練した技巧の効果は、私たちを取り巻く物質に対する感覚を高め、世の中の物事に対する見方を変えてくれます。

粘土の上に塗料、インク、グラファイト、マーカーを使い、風化し、ボロボロになった表面を作り出すことで、鑑賞者はかつての所有者を想い、懐かしさやノスタルジーな気持ちがこみ上げてきます。

またフランシスコ・ゴヤ、フィリップ・ガストン、ゴッホなどから影響を受けており、アメリカの政治的、社会的な問題を直接作品の中に表現するところも彼女の作品の大きな魅力です。



クリスティン・モルギン (Kristen Morgin)

1968年アメリカ、ジョージア州ブランズウィック生まれ。現在はカリフォルニア州ロサンゼルスにて制作を行う。1993年にカリフォルニア州立大学イーストベイ校（ハイワード・カリフォルニア・アメリカ）にて美術学士取得、1997年にアルフレッド大学ニューヨークステート・カレッジ・オブ・セラミックス（アルフレッド・ニューヨーク・アメリカ）にて美術修士を取得。

近年の主な個展は「SO IT GOES」A-B プロジェクト、スクリプス大学（クレアモント・カリフォルニア・アメリカ）（2016年）；「My Best to You, Little Girl-Boy」アンソニー・マイヤー・ファイン・アート（サンフランシスコ・カリフォルニア・アメリカ）（2016年）；「There's No Need to Fear」マーク・セルウィン・ファイン・アート（ビバリーヒルズ・カリフォルニア・アメリカ）（2017年）；「Jennifer Aniston's Used Book Sale」フェリックス・アート・フェア（ロサンゼルス・カリフォルニア・アメリカ）（2019年）など。

主なグループ展には「Thing: New Sculpture from Los Angeles」ハマー美術館（ロサンゼルス・カリフォルニア・アメリカ）（2005年）；「Unmonumental: The object in the 21<sup>st</sup> Century」ニューミュージアム（ニューヨーク・ニューヨーク・アメリカ）（2007年）；「Visions and Revisions: Renwick Invitational 2016」スミソニアン・アメリカ美術館（ワシントンD.C.・アメリカ）（2016年）；「Interstitial」パサデナ・カリフォルニア美術館（パサデナ・カリフォルニア・アメリカ）（2017年）；「Total Collapse: Clay in the Contemporary Past」アリゾナ州立大学美術館（テンペ・アリゾナ・アメリカ）（2020年）；「A Dead Reckoning: Navigating Contemporary Ceramics」ペンスコーラ美術館（ペンスコーラ・フロリダ・アメリカ）（2021年）など他多数。

主なコレクション先にはサンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ・カリフォルニア・アメリカ）；スミソニアン・アメリカ美術館（ワシントンD.C.・アメリカ）；ハマー美術館（ロサンゼルス・カリフォルニア・アメリカ）；ロサンゼルス・カウンティ美術館（ロサンゼルス・カリフォルニア・アメリカ）など。

受賞歴にはジョアン・ミッチェル賞（2005年）などがある。

是非、貴社・貴誌にてご紹介いただけますと幸甚に存じます。  
掲載用、写真の貸出などご質問がございましたら下記までご連絡頂けますと幸いです。

〒605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入ル元町 381-2

プレス担当：金 明香

myoungyang.kim@gallery-sokyo.jp

Tel: 075-746-4456 Fax: 075-746-4457